

# 緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2022年 11月 28日 No. 77

## 安全レベルが低下している事象が発生！

JR 東労組は 2022 年 10 月 11 日に『安全レベルの低下を直視し、「責任追及」を許さず、安全哲学の再確立を目指す緊急声明』を発出しました。JR 東労組の定期大会（2022 年 7 月）以降を見ても、列車の流転や転落、墜落、転倒による怪我、取扱い誤り、待避遅延や汽笛吹鳴を受けても立ち止まらず移動を続ける等、事象が連続して各地で発生しています。そして、直近では列車の異常動揺を認め、線路の緊急点検が実施され、臨時徐行が行われる事象が複数発生しています。

### 事象の一例として

運転士の申告により、線路点検が行われ、線路状態が悪いことが判明。  
緊急で 15km/h 以下の徐行が行われる。

点検の結果、線路の締結装置が 10 数ヶ所も外れていた。



※線路の締結装置のイメージ  
当該箇所ではありません

点検箇所は以前に East i が走行し、

軌道変位を認めるも、整備基準値内であるため修繕していなかった。

### 背景として

修繕に必要な費用が十分に確保されていない現実があるのではないか？



コストダウンの目標達成のために、線路状態の悪化を認識していても「何とかもってほしい」「予算がないから仕方ない」といった問題意識が安全を脅かしているとすれば、安全がトッププライオリティであるといったことが単なる掛け声になっていると言わざるを得ません。

安全レベルの低下を直視し、相次ぐ事象に対して「責任追及への回帰」では安全は守れないため、「責任追及から原因究明へ」の安全哲学の再確立を目指し、職場から議論を巻き起こそう！